

## 土佐湾湾奥部蟹ヶ池の堆積物中に見られる過去 6000 年間の津波履歴 The last 6000 years record of tsunami events in the Kaniga-ike pond along the Nankai Trough

松岡 裕美<sup>1\*</sup>  
MATSUOKA, Hiromi<sup>1\*</sup>

<sup>1</sup> 高知大学理学部  
<sup>1</sup> Kochi Univ.

過去の南海トラフ地震の履歴を明らかにするために、土佐湾の湾奥に位置する高知県土佐市の蟹ヶ池において津波堆積物の研究を行ってきた。2006 年から 2011 年にかけて 34 本のバイブロコア試料を採取し、堆積物の対比を行うとともに、約 150 試料について放射性炭素年代測定を行った。その結果、過去 2000 年間に 6 回の津波記録が明らかになっている。このうち 4 回は歴史上の南海地震に対比することができ、上位から西暦 1854 年安政地震、1707 年宝永地震、1361 年正平もしくは 1099 年康和地震、684 年天武地震、歴史記録よりも古いイベントは、AD300~600 年、約 2000 年前の紀元前後のものである。この中で、特に約 2000 年前のイベントは下位の堆積物を大きく削り込み、厚く粗粒な津波堆積物を堆積させており、大規模であったと考えられることがこれまでに分かっている。

さらに古い過去数千年の履歴を明らかにするために、2012 年から 2013 年にかけて 12 本のより深い深度まで達する試料を採取し、堆積物の対比を行うとともに、約 60 試料について放射性炭素年代測定を行った。その結果約 2000 年前のイベントよりも下位である約 2500 年前~約 6000 年前の 3500 年間に、少なくとも 11 回のイベントがあることが明らかになった。これら 11 回のイベントは 300 年程度の周期をもって規則的に大規模な削剥もしくは堆積間隙を伴わず堆積しており、この間比較的安定した堆積環境が継続していたことを示している。

蟹ヶ池の湖底堆積物から、過去 6000 年間の津波履歴を明らかにした。その結果、当然のことながら、過去 6000 年間にわたって規則的に津波が襲来していることが分かった。さらに約 2000 年前のイベントは、過去 6000 年間では唯一最大のイベントであると言える。このイベントが具体的にどのような津波で、どのような地震によって引き起こされたのかは明らかではないが、南海トラフ沿いの他の湖沼においてもこの年代で大規模な津波痕跡がいくつも見つかっており、今後その具体像を探ってゆきたい。

キーワード: 南海トラフ, 津波堆積物  
Keywords: Nankai Trough, Tsunami sediment